

支払基金の在り方等に対する 健保連の考え方

平成29年3月23日

目次

- 1 . 支払基金に係る課題とその改善策について...P 2
- 2 . 支払基金に対するガバナンスの考え方について...P 4
- 3 . 診療報酬の審査の効率化・統一化のあるべき姿について...P 6
- 4 . 保険者機能の発揮について...P10
- 5 . 保険者支援のための業務の拡大・強化について...P21

1. 支払基金に係る課題とその改善策について(1)

支払基金の支部体制の見直し

現行法は、支部で審査が完結することを前提に規定されているため、全都道府県の支部毎に大型チェックシステム、審査用の職員、審査委員会、相応の規模の施設等が必要となる



健保連の基本的な考え方

支払基金法の改正を行い、支部の集約を含めた組織体制の抜本的見直しを通じて、コストの削減と、より効果的・効率的なサービス提供を実現すべき

地域ブロック毎の主要都市に支部機能を集約し、審査委員会を含む審査業務の一括実施等の見直しを検討することによって、コストの大幅削減を含めた抜本的な合理化・効率化を目指すべき

1. 支払基金に係る課題とその改善策について(2)

コンピュータチェックの拡充と集約化

支払基金の医科電子レセプトの原審査査定点数に占めるコンピュータチェックの寄与割合は平成28年3月分で56%に留まっており、27年度の目標数値(7割程度)に到達していない支払基金の47都道府県支部ごとにコンピュータチェックや審査事務を行うのは効率的でない



当面取組むべき対応

- まずは、コンピュータチェックの精度向上による審査の段階化(コンピュータチェック80% + α → 審査委員による目視審査20% - α)で、審査業務の徹底的な効率化を推進すべき
- そのうえで、コンピュータチェックと付箋剥がし等の審査付随業務については、ブロック化による集約を早急に図るべき

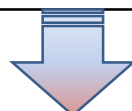
2. 支払基金に対するガバナンスの考え方について

支払基金の事業運営に関わる健保組合の取り組みの現状

支払基金本部理事会・支部幹事会に保険者代表として参画、支部幹部/審査委員会と健保組合幹部との定期的な意見交換
毎年度、審査支払事務手数料単価の改訂交渉の中で、支払基金のコスト削減・効率化等につき協議

支払基金の中期計画である「支払基金サービス向上計画」の目標設定を協議するとともに、その実施状況について、毎年度、フォローアップ

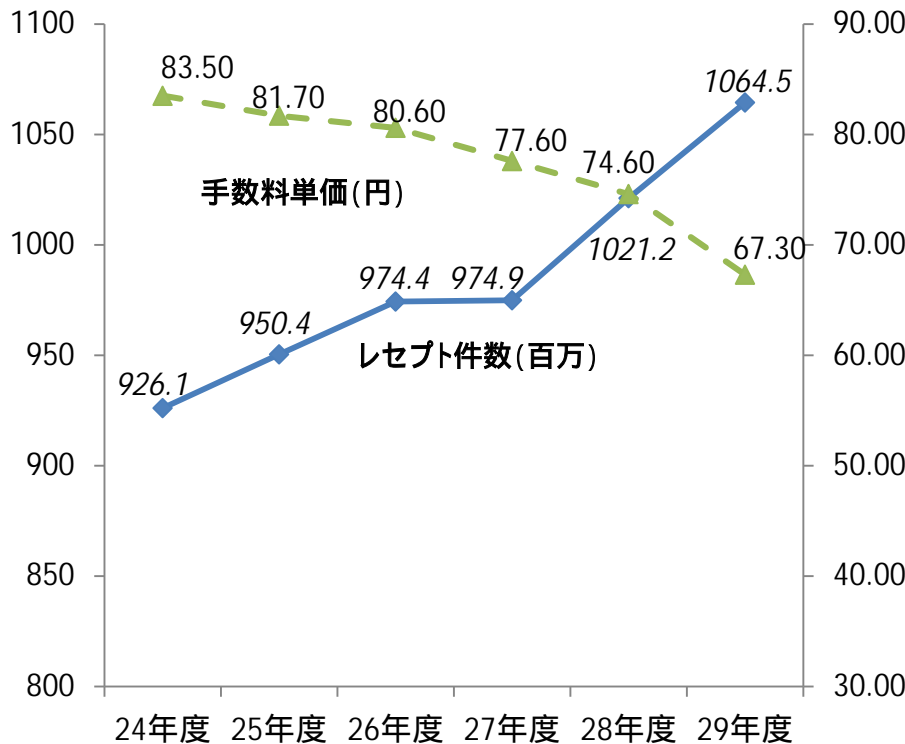
当面取組むべき対応



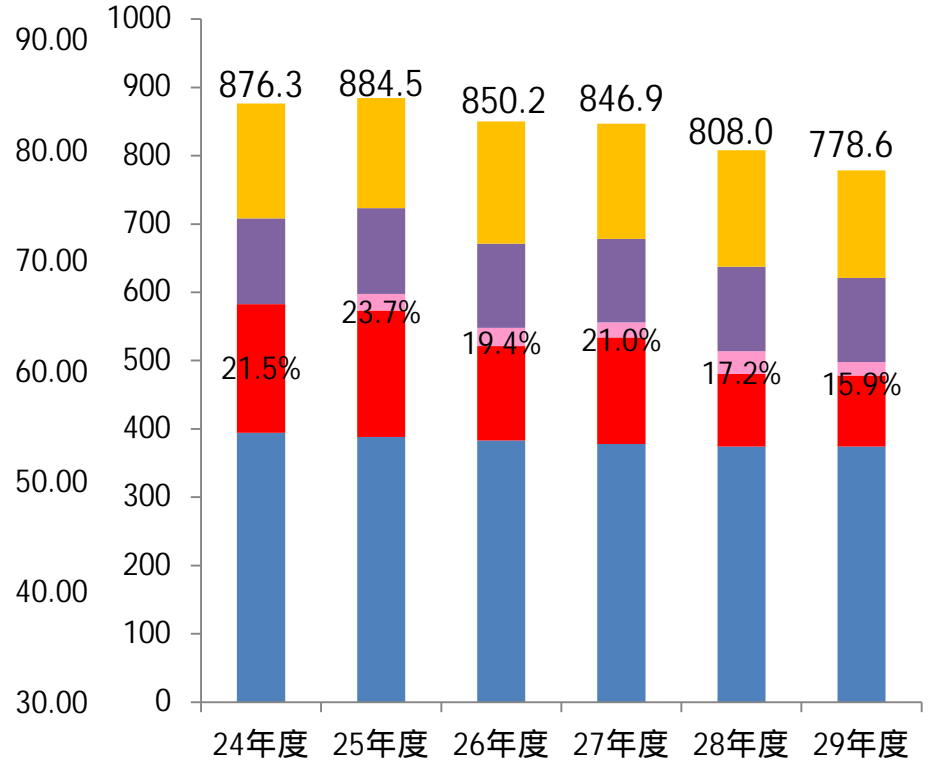
- 今後も支払基金本部・支部に対し情報公開や詳細な説明を求め、主に財務面(人件費、IT投資等)や審査状況等をチェックし、改善を求めていく
- 合わせて、今後策定される「支払基金業務効率化計画・工程表」の実施状況等についても、定期的に協議を行い、改革促進を図りたい

【参考 - 手数料単価と支払基金のコスト構造】

事務手数料単価とレセプト件数の推移(予算ベース)



億円 支払基金のコスト構造(予算ベース)



給与諸費 システム関連経費 IT化推進経費積立
 審査委員会費 その他
 棒グラフ中央の値は、予算に占めるシステム関連経費とIT化推進経費積立の割合